

# 共生環境学科・環境情報システム学教育コース カリキュラムマップ

2022年度以降の入学生向け

改訂履歴

2021年12月27日 新カリキュラムに対応させるため修正

## 学部ディプロマポリシーとコース学習教育目標との関係

- |  |                       |
|--|-----------------------|
| (1) 幅広い教養と倫理観、国際感覚を身につけ、豊かな人間性を有している。          | ← A, B                |
| (2) 生命、環境、食料、健康等に関する生物資源学の基本的な知識と技術、経験を有している。  | ← B, E                |
| (3) 科学的で論理的な思考を展開することができ、計画的に問題の解決に取り組むことができる。 | ← A, E, F, G, H       |
| (4) 豊かなコミュニケーション能力を持ち、他者と協力して行動することができる。       | ← C, D                |
| (5) 社会の変化に柔軟かつ自律的に対応し、発展的に生きていくことができる。         | ← B, D, E, F, G, H, I |

## 環境情報システム学教育コース学習教育目標

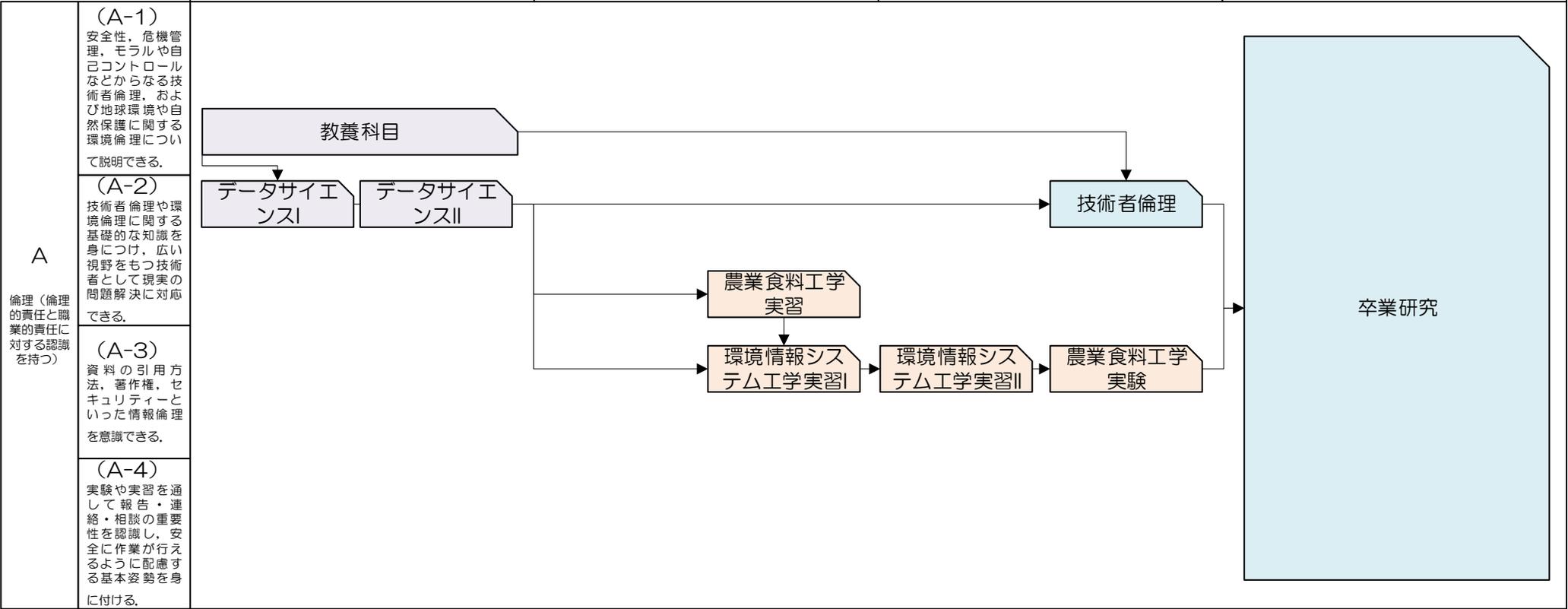
- A 倫理（倫理的責任と職業的責任に対する認識を持つ）
- B 諸問題の認識とグローバルな視点
- C チーム活動
- D コミュニケーション
- E 環境・情報・システム工学に関する専門知識
- F 問題解決能力
- G データ読解力
- H 実験計画
- I 問題設定・デザイン力

教養科目 学部必修 学科必修 コース必修 選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

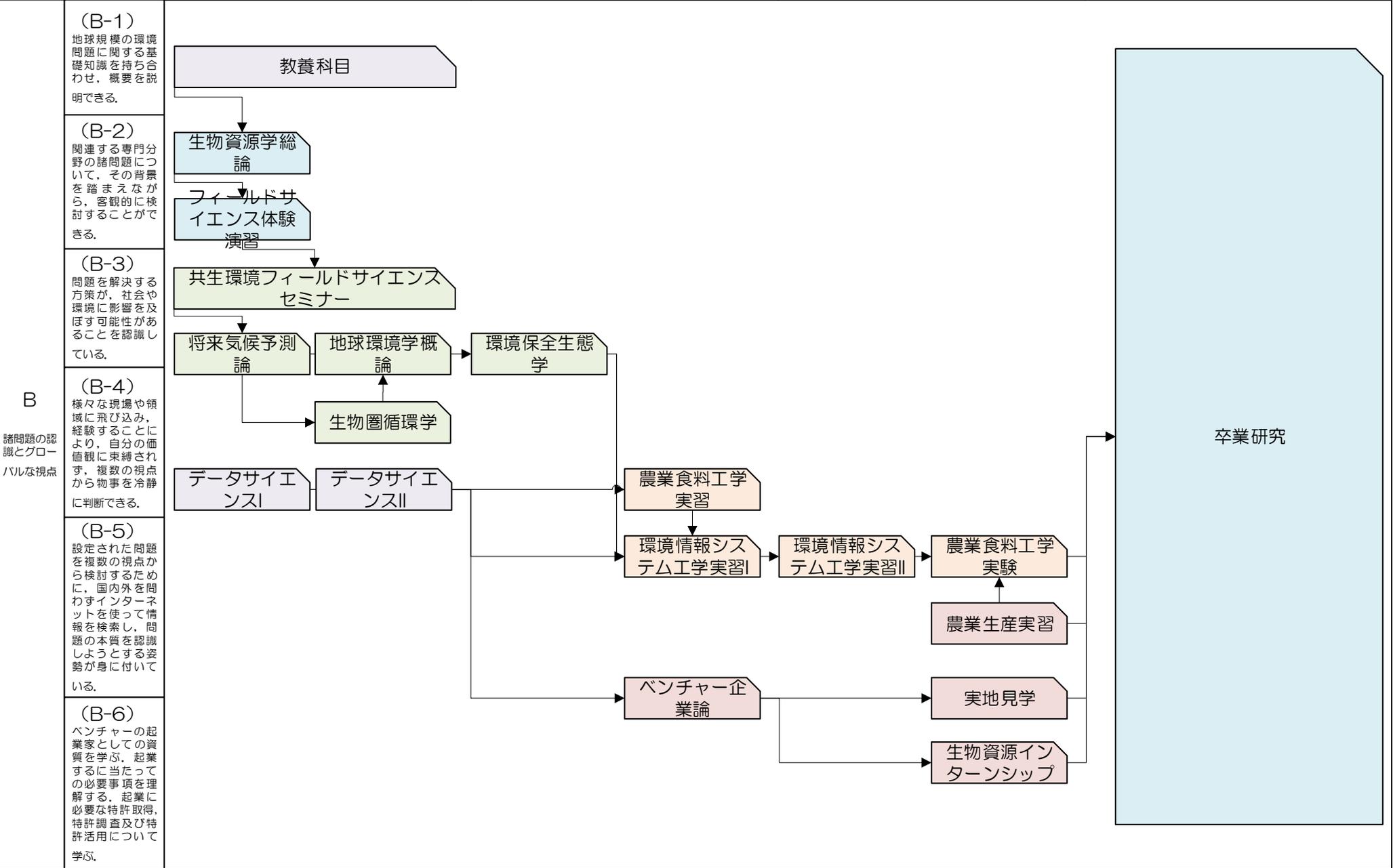
環境情報システム学  
教育コース

1年 2年 3年 4年



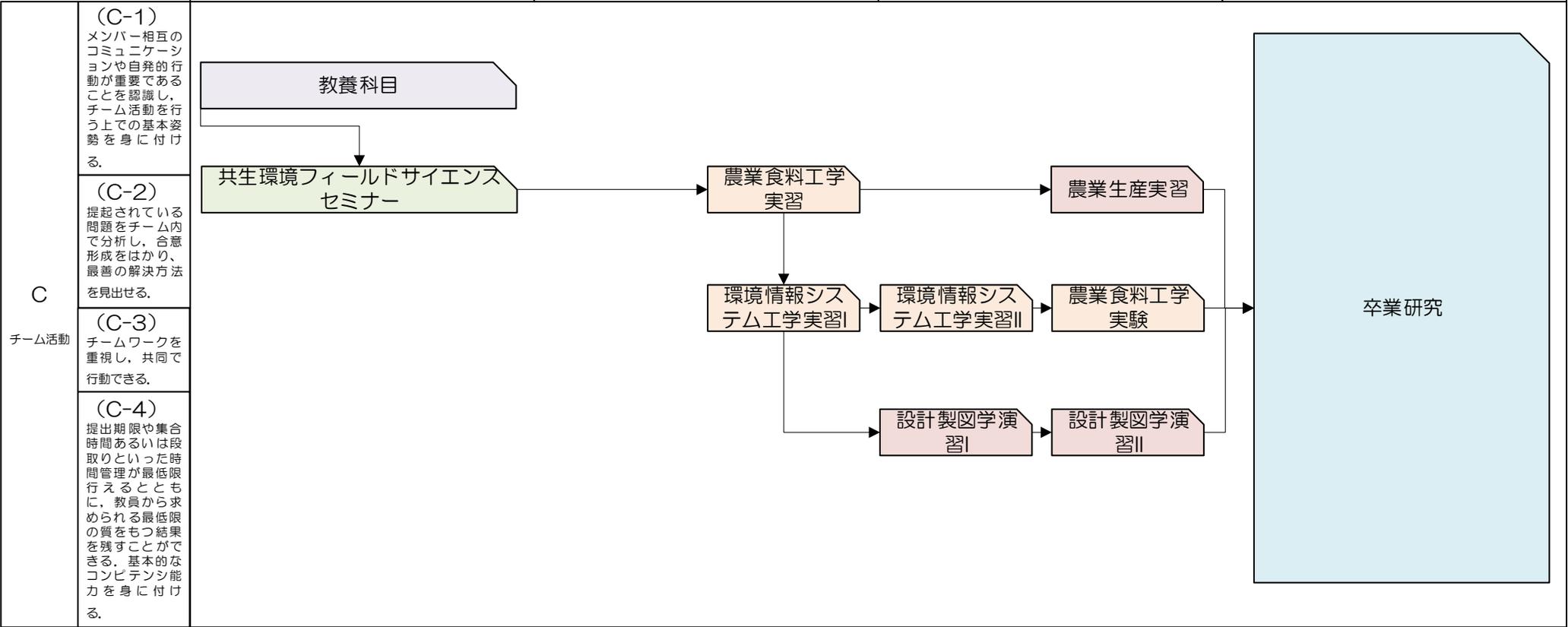
環境情報システム学  
教育コース

1年	2年	3年	4年
----	----	----	----



環境情報システム学  
教育コース

1年	2年	3年	4年
----	----	----	----



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

環境情報システム学  
教育コース

1年

2年

3年

4年

(D-1)

読み手や聞き手の要求に見合った情報を構成および設計することを意識し、数値、図表を用いてわかりやすく説明する基本姿勢を身に付ける。

(D-2)

漢字や句読点、文法に注意を払いながら、指定された段落構成、図表や文献の挿入および引用規則を守って文章を作成できる。

(D-3)

ノートならびにペンを用意するなど、常に聞く姿勢あるいは質問する姿勢をとることができる。

(D-4)

論理的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力を身に付け、論文や講演により研究成果などを適切に伝えることができる。

(D-5)

社会人としてのコミュニケーション能力の基礎を身につけている。

(D-6)

インターネット上のエチケットやマナーを意識しながら情報をやりとりできる。

(D-7)

専門分野において、外国語を用いてコミュニケーションができる。

D

コミュニケーション

教養科目

共生環境フィールドサイエンス  
セミナー

農業食料工学  
実習

環境情報シス  
テム工学実習I

環境情報シス  
テム工学実習II

農業食料工学  
実験

データサイエ  
ンスI

データサイエ  
ンスII

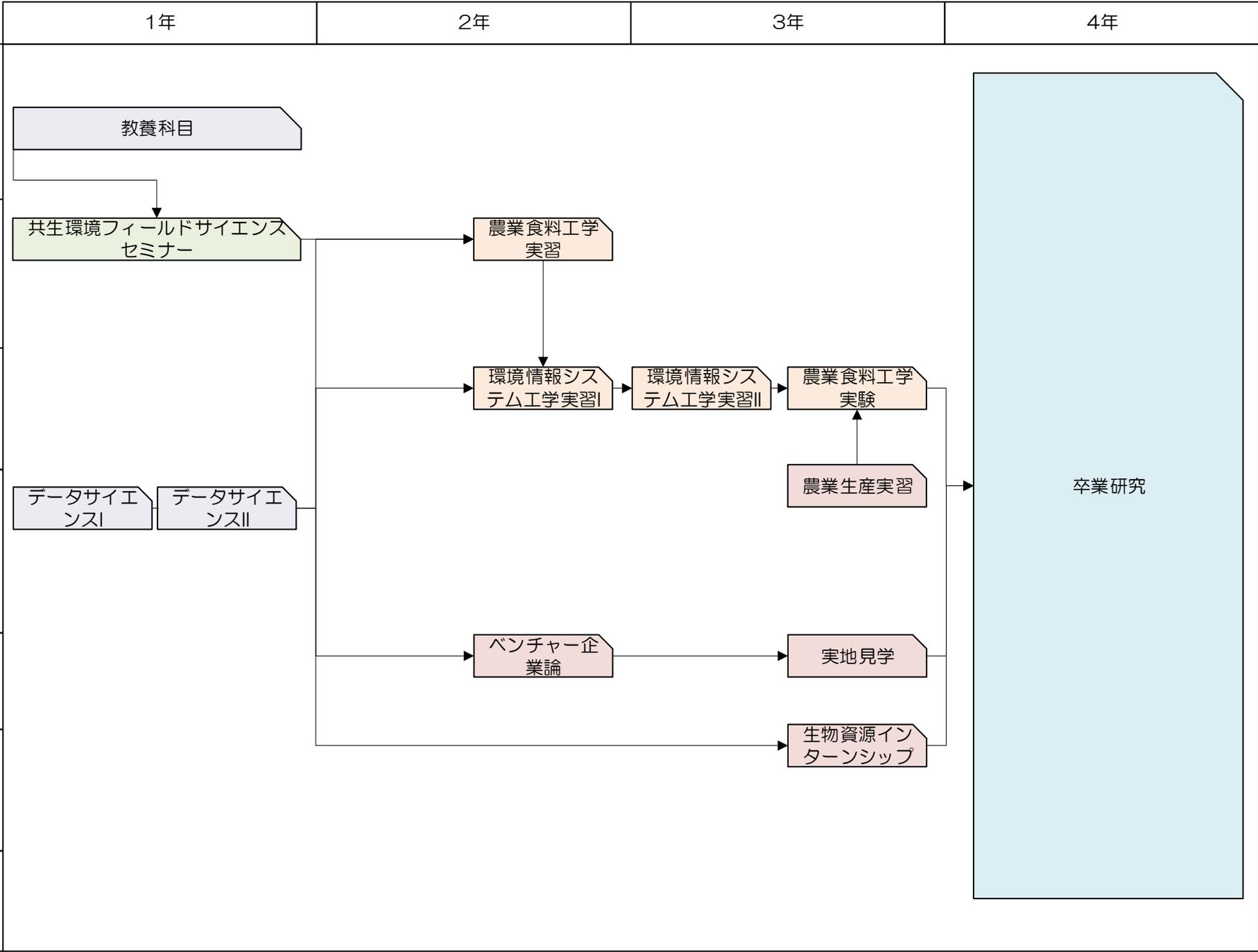
農業生産実習

ベンチャー企  
業論

実地見学

生物資源イン  
ターンシップ

卒業研究



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

環境情報システム学  
教育コース

1年

2年

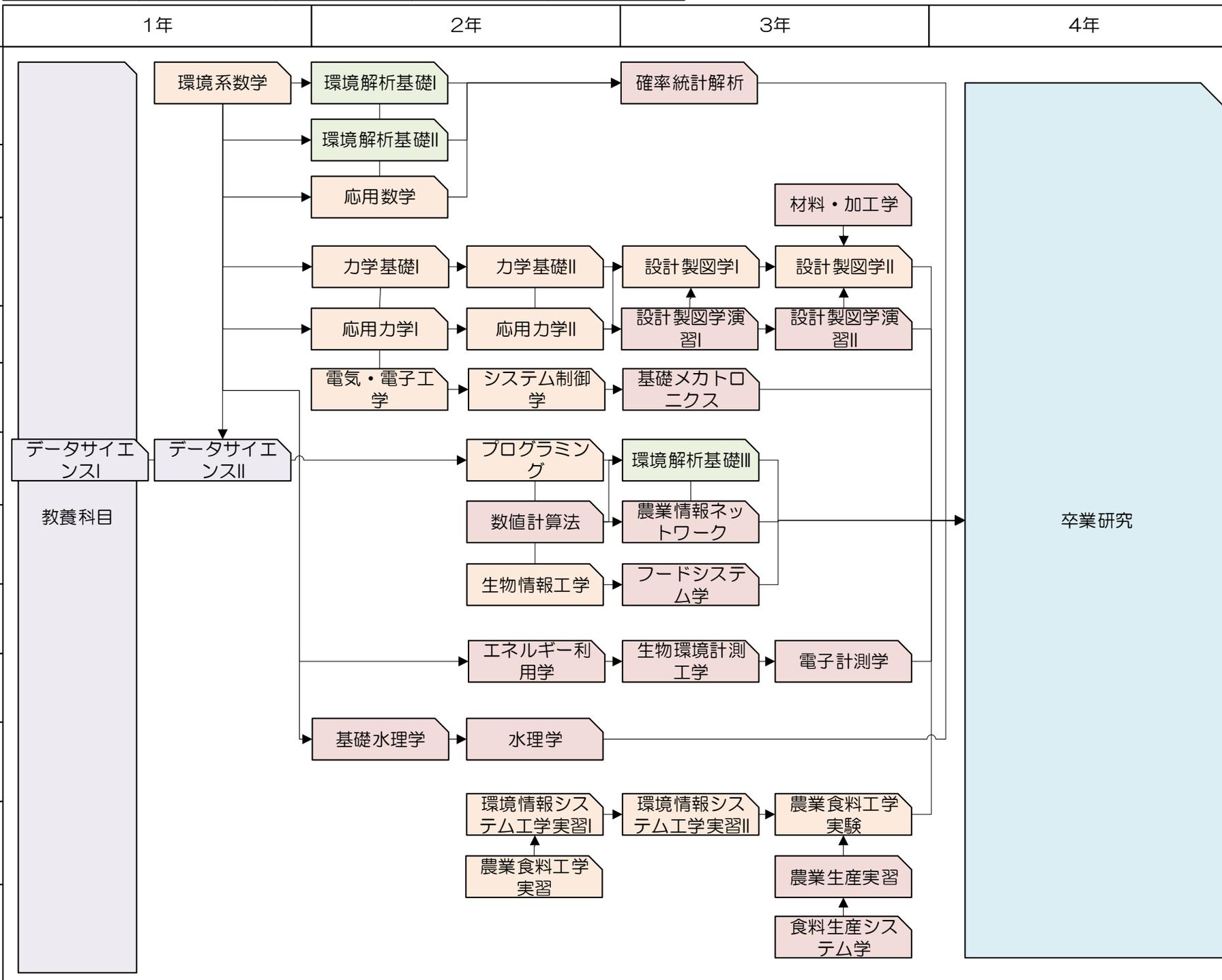
3年

4年

- (E-1) 環境・情報・システム工学に関連する幅広い専門知識を有する。
- (E-2) 機械力学および材料力学の基礎を有する。
- (E-3) 微分方程式、線形代数といった数学の基礎を有する。
- (E-4) 熱力学の基礎を有する。
- (E-5) 流体力学の基礎を有する。
- (E-6) 電気電子、電磁気の基礎を有する。
- (E-7) エネルギー利用に関する基礎を有する。
- (E-8) プログラミングのスキルを有する。
- (E-9) 統計解析の基礎を有する。
- (E-10) 数値計算の基礎を有する。
- (E-11) 論文、レポート作成するための作文スキルを有する。
- (E-12) 論文、レポート作成するための情報リテラシーに関するスキルを有する。

E

環境・情報・システム工学に関する専門知識



教養科目 学部必修 学科必修 コース必修 選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

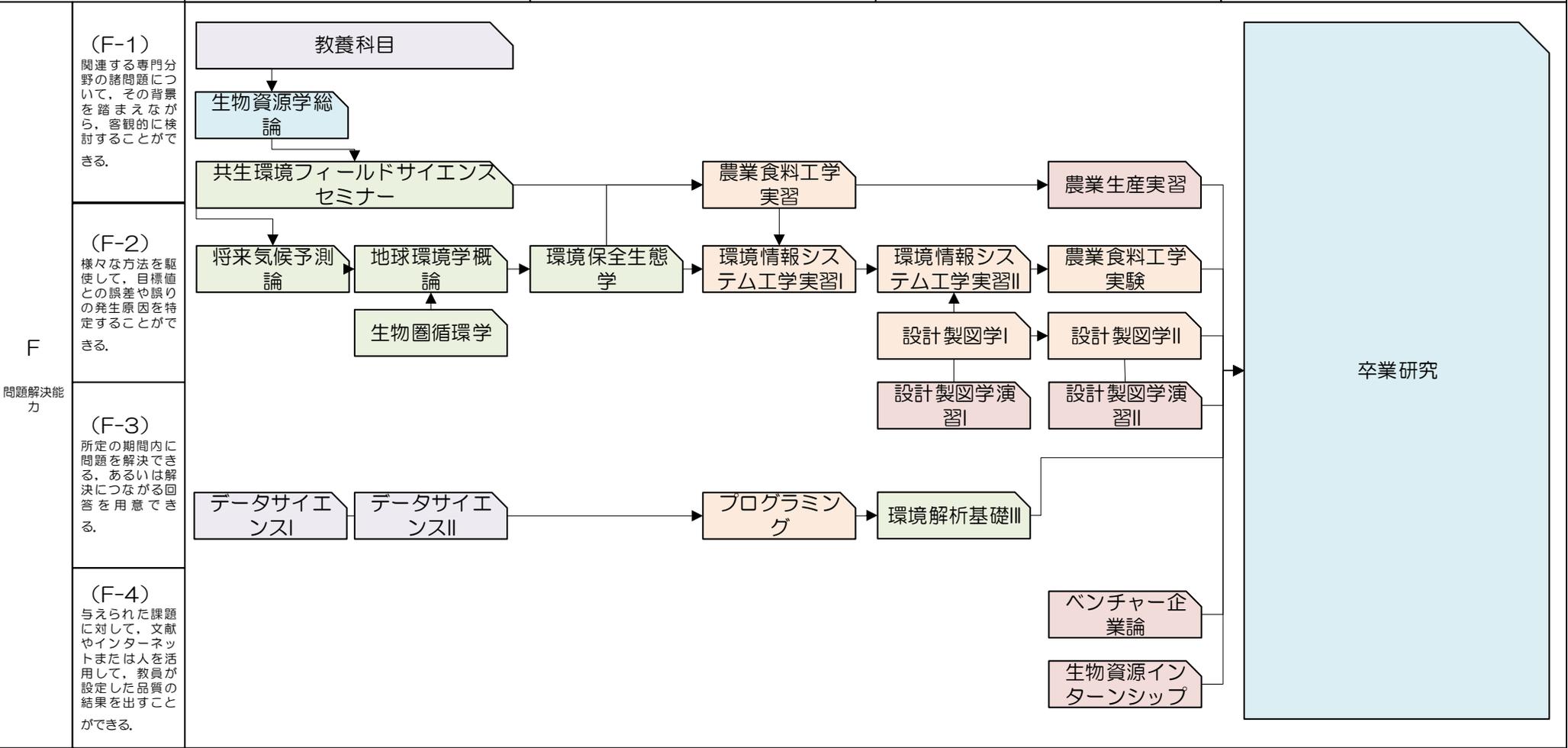
環境情報システム学  
教育コース

1年

2年

3年

4年



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

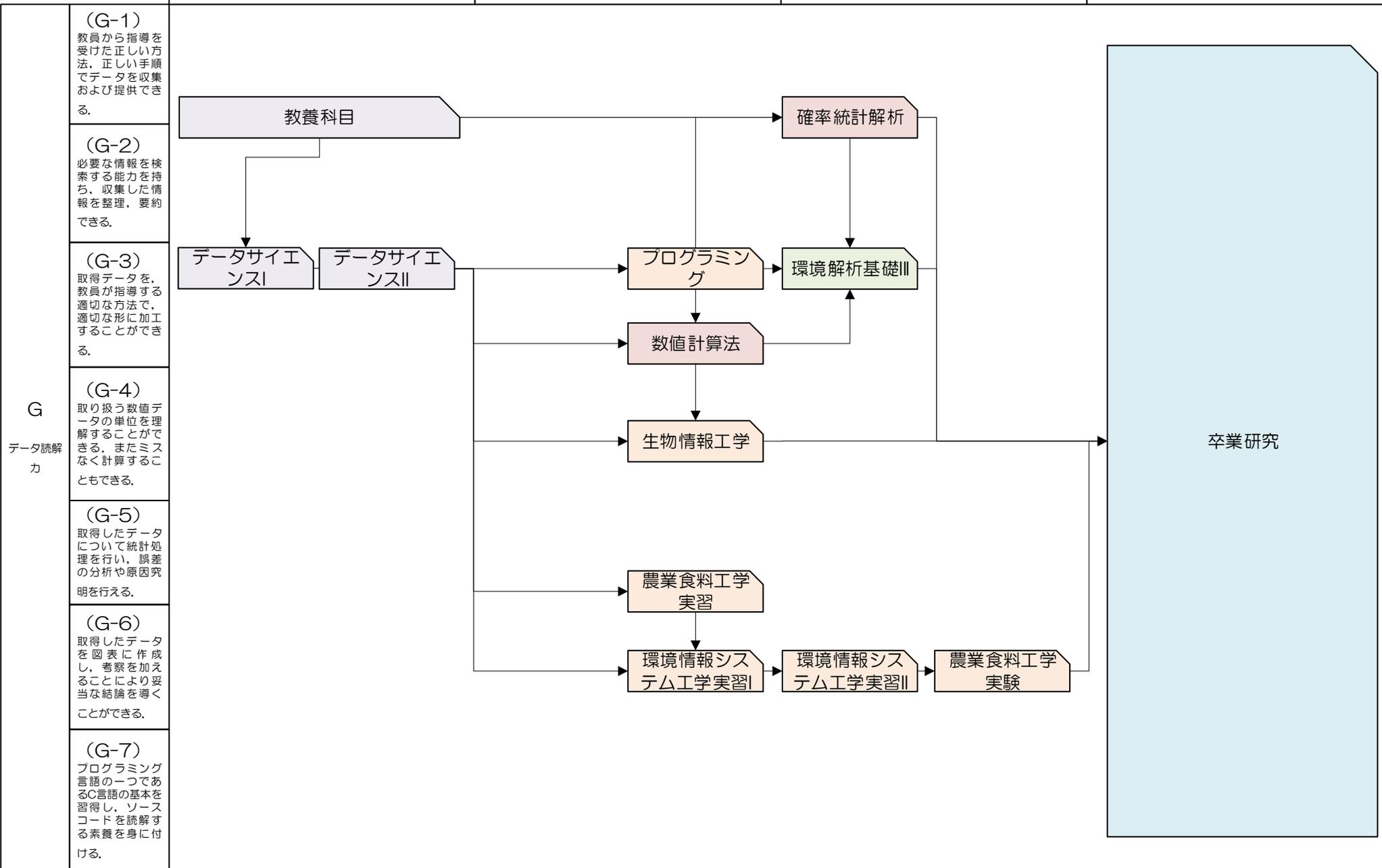
環境情報システム学  
教育コース

1年

2年

3年

4年



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

環境情報システム学  
教育コース

1年

2年

3年

4年

H

実験計画

(H-1)  
実験で検証すべき問題および得るべき目標を明らかにし、実験計画を立てることができる。

(H-2)  
問題を解決するために立てた仮説を、実験により検証することができる。

(H-3)  
実験結果の再現性を確認するための繰り返し実験の重要性が説明できる。

(H-4)  
実験機器の動作原理を理解し、操作できる。

(H-5)  
現象にあわせて計測機器や計測技術を適切に選択し、データを収集することができる。

農業食料工学  
実習

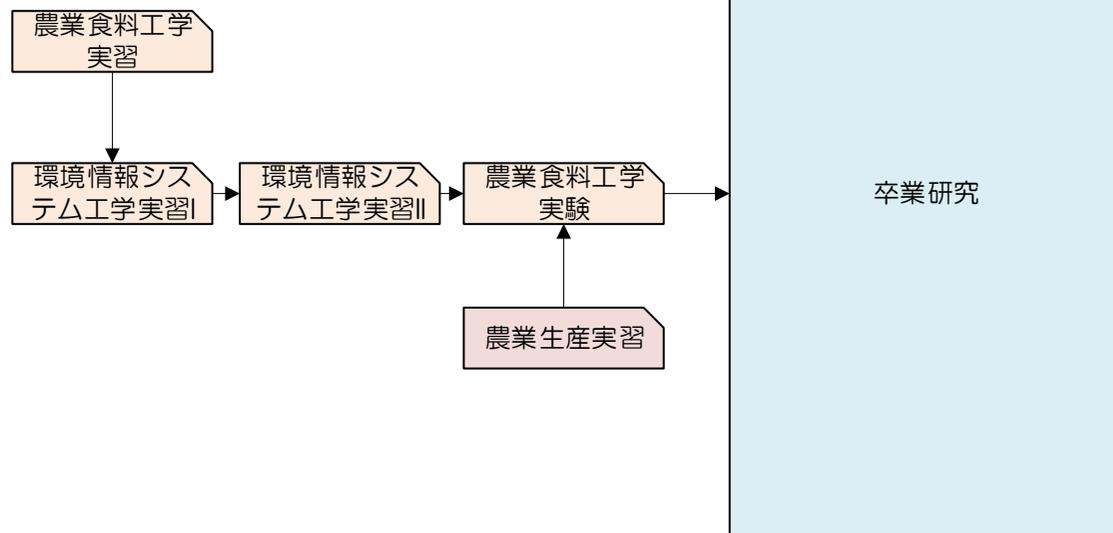
環境情報シス  
テム工学実習I

環境情報シス  
テム工学実習II

農業食料工学  
実験

農業生産実習

卒業研究



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

環境情報システム学  
教育コース

1年

2年

3年

4年

